

時計の月額制レンタル「カリトケ」

昭和リースと連携

力化
調達
調強

ブランド時計の月額制レンタルサービス「カリトケ」を運営する、ななし（大阪、小山市也社長）は、新生銀行グループの総合リース会社、昭和リース（東京、瀬戸紳一郎社長）と腕時計の商品調達などに関する事業マネジメント契約を締結した。これにより、商品調達力を大幅に強化する。

カリトケは月額3980～1万9800円の四つの料金プランで、44ブランド400種類のブランド時計をレンタルできる。オンラインのほか、有楽町マルイやなんばマルイで常設店も開いている。17年6月にサービスを開始して、19年9月時点

の登録会員数は2万人だった。順調に会員数を拡大している一方で、「単独での商品調達に限界があった」といい、品揃えが不足していた。昭和リースとの業務提携によって、年間数億円規模での商品調達が可能になり、今後会員数をさらに増やす上でボトルネックになっていた課題を解消する。

成長を加速するため、19年10～12月の間に三菱UFJキャピタル、新生銀行、みずほ銀行などから約2億円を資金調達した。資金は新規会員獲得とユーザー体験向上のための運営・開発体制の強化に投資する。カリトケはスマートフォン

1.ムの開発・運営を主事業とするクロバーラボ（大阪）が新規事業として運営してきた。事業拡大に伴ってより柔軟な資金調達環境を確保するため、19年9月30日付でカリトケの運営・開発メンバーと、メンズファッションサブスクリプションサービス「リーブ」事業をななしに移管した。

※本記事の著作権は織研新聞社が所有し、記事の二次利用について許諾を得ております。

織研新聞社ホームページ「織研プラス」はこちら：<https://senken.co.jp/>